

新たなる神話のはじまり



全ての命が、ここから生まれ出た——、と感じる、美しい琵琶湖の水
私はそこにあって、ありませんでした…

6月はじめ、琵琶湖へと出かけました

琵琶湖は、石川から関西方面へ出かける途中にあるので、いつの間にか
近所の公園のような感覚になっていましたが

2012年11月11日に参加した、琵琶湖・竹生島神事以来です^^

中今、行くべきところがあるような。。。？

それは、ハイアーセルフからのメッセージ——

ネット検索によって浮かんできたのが、“白髭神社”でした
情報に惑わされると、自身にとって大切なものが、見えなくなる…
調べはそこそこ、ワクワク～！で出かけました(^)/



「近江の巖島」と言われる白髭神社の湖上鳥居が、道路を挟んで向こう側に見えます

写真を撮りながら、どうしても行ってみたいくなり

「横断禁止」と書かれた大看板にお辞儀をして、往来の激しい道路を突破

湖上鳥居のすぐ近くまで、降りて行きました

規則違反(ゴメンナサイ<(_)>)ですが、やっぱり来てよかった！！

そこで初めて

“琵琶湖にお会いた——” 気がしました(*^^*)

琵琶湖の全て、そして、空も、山も、大地も
地上のあらゆるすべてが、ここにあるかのように感じられました
私達はその中に、生かされている



白鬚神社



天孫瓊瓊杵尊降臨の際に、先頭に立って道案内をされた神で、
導き・道開きの神として知られている

当社にお祀りされている猿田彦命は、白髪で白い鬚を蓄えた老人のお姿で
御社名の由来にもなっている長寿神である

垂仁天皇 25 年に、皇女“倭姫命”によって創建された、近江最古の大社
と、HP (ホームページ) に記されています

帰りの乗り合いタクシーまで時間があつたので、裏山の木陰で、ゆっくりと過ごしました

。。。。。



考えてみると、日本一大きな湖が、日本列島のほぼ真ん中にあるのは不思議です

出来た、のではなく、創られた… ?

日本神話の中の「国生み」で、最初に創られたのが“淡路島”とされていますが

その“淡路島”と“琵琶湖”は、何故か形がとてもよく似ています

もしかしたら、“淡路島”は“琵琶湖”から生まれた…

なんとなく、琵琶湖からすべてがはじまっていく、そんな感じがしてきました！

“近江最古の大社”との言葉に惹かれ、ここに来なくてはいけない気がしたのですが

“はじまりの時——”を感じていたのかもしれませんが^^

そして、白髭神社御祭神は、“猿田彦命”です

天孫降臨の際の、導き・道開きの神であり、中今は“第二の天孫降臨”の時

それは、地上セルフにあらゆる全てを統合し、根源へと帰っていく“天孫帰還”でもあり

新しい、素晴らしい、神(真)話のはじまり——

最初に、ぼんやりイメージされたテーマが、浮かび上がってきた気がします

猿田彦命は、中今

根源神界への道開きの神“白山菊理姫”でもあります！^^

白髭神社は、天照大神の社を、伊勢の地に建てたと伝えられる皇女

“倭姫命”によって創建されていて

私は、その導きによって、ここへとやってきたのかもしれませんが！ルン(*^^*)るん

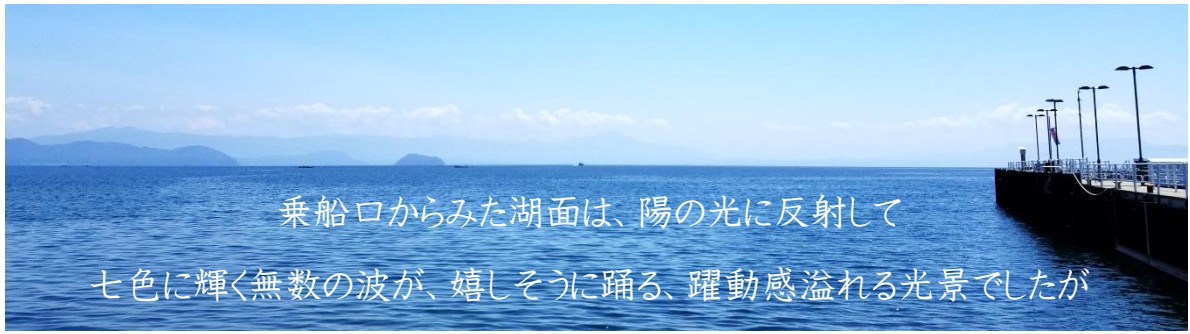


そういえば、ここは、(天の)岩戸社の前でした？！

.....

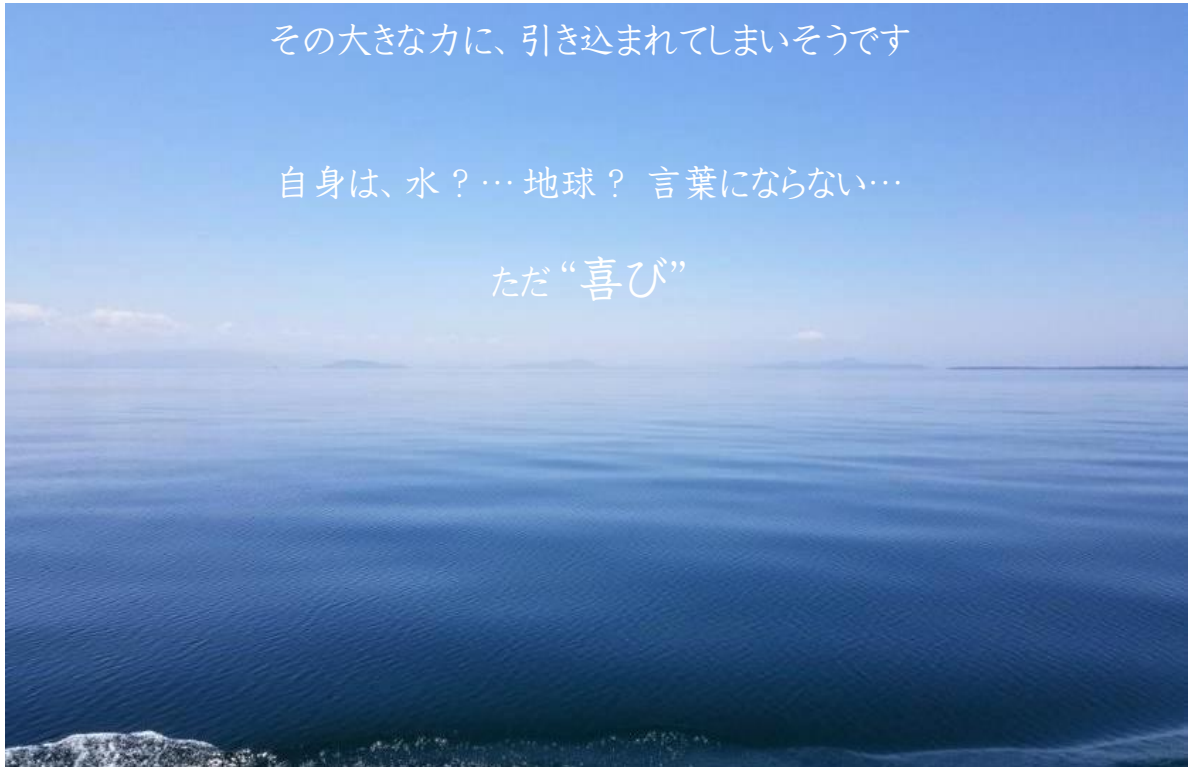
白髭神社を後にし、今津港から琵琶湖汽船に乗りました

竹生島を通り、長浜へと向かう、琵琶湖を横断するルートです



乗船口からみた湖面は、陽の光に反射して
七色に輝く無数の波が、嬉しそうに踊る、躍動感溢れる光景でしたが

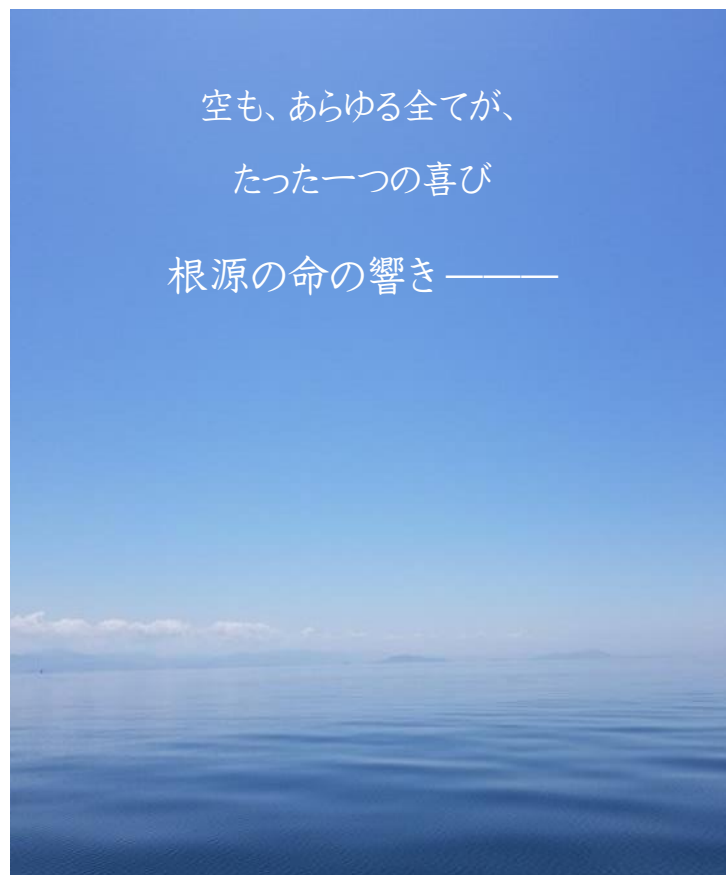
船上でみる水面は、とても静かで、波が生まれ出る源の



その大きな力に、引き込まれてしまいそうです

自身は、水？…地球？ 言葉にならない…

ただ“喜び”



空も、あらゆる全てが、
たった一つの喜び
根源の命の響き ——



竹生島が見えてきました

どろっとしたゼリーのような質量感のある、真っ青な湖面に、はっとしました
いつの間にか飛んでしまっていた、意識の世界から
竹生島が浮かぶ、この青い水が、引き戻してくれた感じがします
水は、光が物質化したもの、この地上(物質世界)と
天上(光・意識空間)をつなぐ、アストラル空間でもある事が、わかった気がしました^^

なんと可愛い、ま〜るい形の島…

けれど、水面下には、莫大な力が潜んでいるようで

竹生島は“マルテン”の“テン”のイメージ？

臍のようでもあり

ここが、“琵琶湖の中心”、そして“世界の中心”に見えてきました！





島は、切り立つ岩と、針葉樹で出来ていて、
力強く上昇する、縦軸(マルジュウ)の、エネルギーパワーも感じます
正面に見えるのは、息吹山です



加賀白山の清々しい気が、能郷白山、息吹山を経て
この琵琶湖へと、渡ってくるようです^^
横一列に並ぶ雲は、琵琶湖をサポートする“白山・息吹山連合艦隊”?!

古来、信仰の対象となった島で、神の棲む島とも言われ、奈良時代に行基上人が

四天王像を安置したのが竹生島信仰の始まりと伝わる

南部には、都久夫須麻神社(竹生島神社)、宝巖寺(西国三十三所三十番)がある

竹生島神社は、明治の神仏分離令に際して、弁才天社から改称した

竹生島弁才天は江島神社・巖島神社と並んで、日本三大弁天のひとつに数えられる

—— ウィキペディアより ——

竹生島宝巖寺は、神亀元年(724年)聖武天皇が、夢枕に立った天照皇大神より

「江州の湖中に小島がある。その島は弁才天の聖地であるから、寺院を建立せよ。すれば、

国家泰平、五穀豊穰、万民豊樂となるであろう」というお告げを受け、

僧行基を勅使としてつかわし、堂塔を開基させたのが始まりです。

行基は、早速弁才天像(当山では大弁才天と呼ぶ)を彫刻し、ご本尊として本堂に安置。

翌年には、観音堂を建立し、千手観音像を安置しました。

—— 宝巖寺 HP(宝巖寺のいわれ「すべては、天照皇大神のお告げから」)より ——

急な階段を、えっちら(笑)上っていくと、宝巖寺へとたどり着きました

悠々とした寺内を、じっくりと見て回りたい気持ちもありましたが、帰りの船までの

時間を考えて、都久夫須麻神社(竹生島神社)を目指しました



御祭神

市杵島比売命(弁財天・宗像大神)

宇賀福神(龍神)

浅井比売命(産土神)

宝巖寺(仏界)の御本尊は“弁財天”、神界においては“市杵島比売命”です
「神仏分離令によって分離したが、今日でも都久夫須麻神社の本殿と、宝巖寺の観音堂は
舟廊下で直接連絡しており、両者は不可分のものとなっている。」とあり

神界と仏界をつなぐ“水”(舟廊下) = “琵琶湖”がそこにみえる気がして、面白いです^^

弁財天は七福神の一柱、音楽・弁才・財福・知恵の天女として、親しみ深く
身近な存在として感じられますが、市杵島比売命には、まさに神界 = “神秘”を感じます

“アマテラスとスサノオの誓約”で、アマテラスから生まれた

三女神(宗像大神)の内の一柱、“水の神”と言われ

琵琶湖の中に祀られていることが、私にはすごくしっくりと、心地よく感じられます^^

本殿にて感謝のご挨拶をしましたが、扉が閉まっていて中が見えず

意識がより深く、御神体へと向かう感じがします

外界から遮断された薄明かりの中、神に向かう心だけがみえる、厳かな空間——

2012年の、正式参拝の光景が浮かんできます

今思うとそこは、普段は入ることの出来ない、とても神聖な領域…

“マルテンの、テン…?”



宝巖寺のいわれ “すべては、天照皇大神のお告げから——”

市杵島比売命は、

天照皇大神 = “根源天照皇太神”の子供

限りなく清らかで美しい、根源の光の水“琵琶湖”に浮かぶ

“根源の究極の愛の子供”

神の住む聖域、“竹生島”のはじまりが見えてきました！

本殿から湖面を見下ろす途中に、“龍神拝所”があります



ここから土器を投げて、下に見える鳥居の間を抜けることが出来れば
龍神がその願いを叶えてくれる、という“かわらけ投げ”の風習があるそうです
龍神とは？と思いながら、ご挨拶の参拝を終え、下を覗き込むと

わあ～～、

まさに、竹生島一の絶景かな！目が覚めるような、美しい景色です



無数のかわらけは、まるで、白龍神の鱗のように、白く輝いて見えます

竹生島には、途中“黒龍神社”もあり、かわらけ投げには
白と黒、“陰・陽”の統合を計る意味もあるのかもしれない…。と感じました



そして、とても不思議な感覚。。。。

自身が、∞に広がる螺旋の中心、
あらゆる全ての、中心に立っているかのような気がします——

マルテンの“テン”、宇宙の中心
根源の光の源

龍神とは、根源の光の源から∞に広がる、この壮大な、螺旋のエネルギーパワー！！

そう思いました！！ (*^^*)

渦の中心。。。?で浮かんできたのが
先月、白山さんで撮った、「目がまわる〜！」(笑)の、写真です

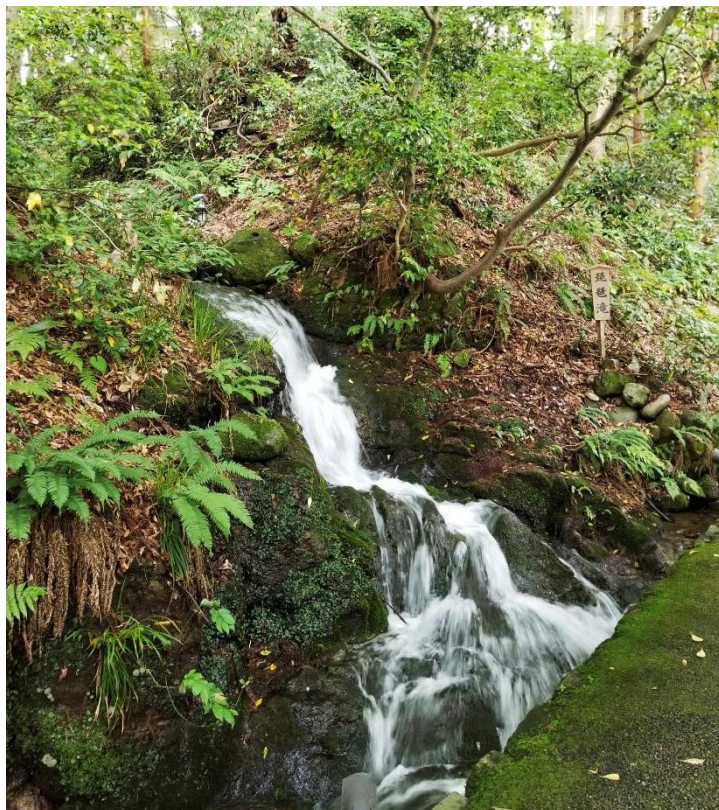


白山比咩神社表参道には、古めかしい雰囲気の手水舎があります
見慣れて当たり前になっていましたが、岩組の間から顔をだす龍はすごい迫力、貫禄で
そこには何か特別な世界(次元)が存在しているような、不思議なパワーを感じます！

“12の角を持つ龍” = 龍神界の頭目?が潜む場所、なのかもしれません^^



その手前には、“琵琶滝”という名前の、小さな瀧があります



とても清らかで、繊細、美しい流れです

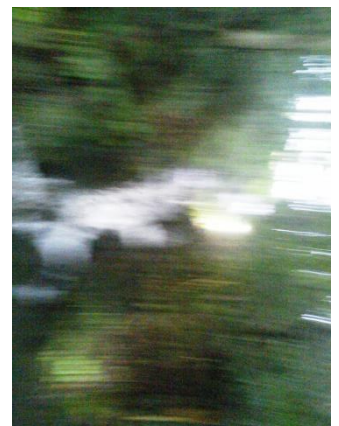
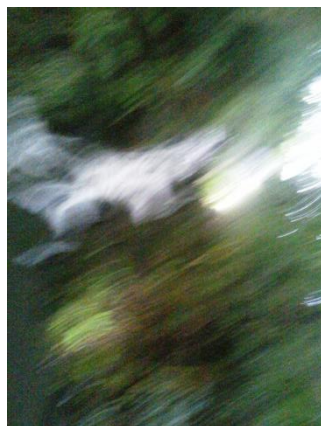
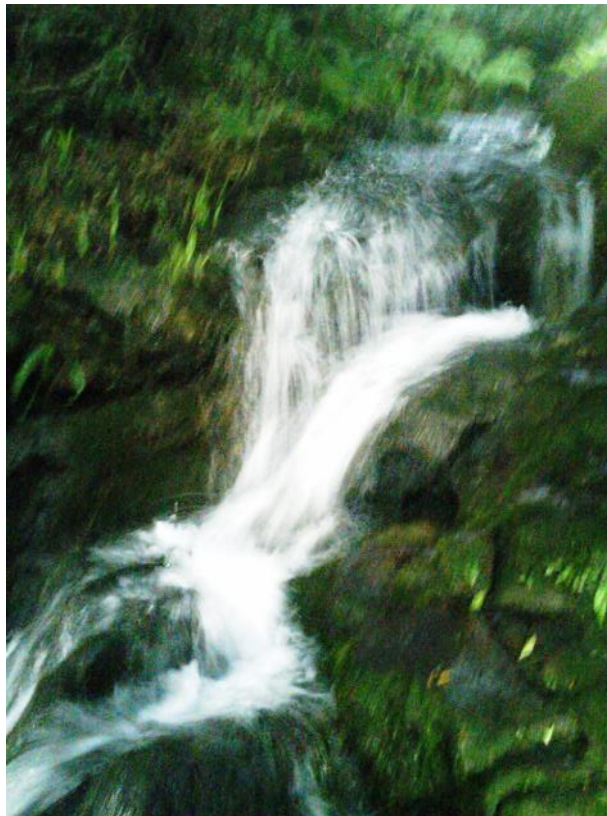
荒々しい感じの、龍神さんのイメージとは違う気もしますが、

“水”というエネルギーの本質、一面であると思います

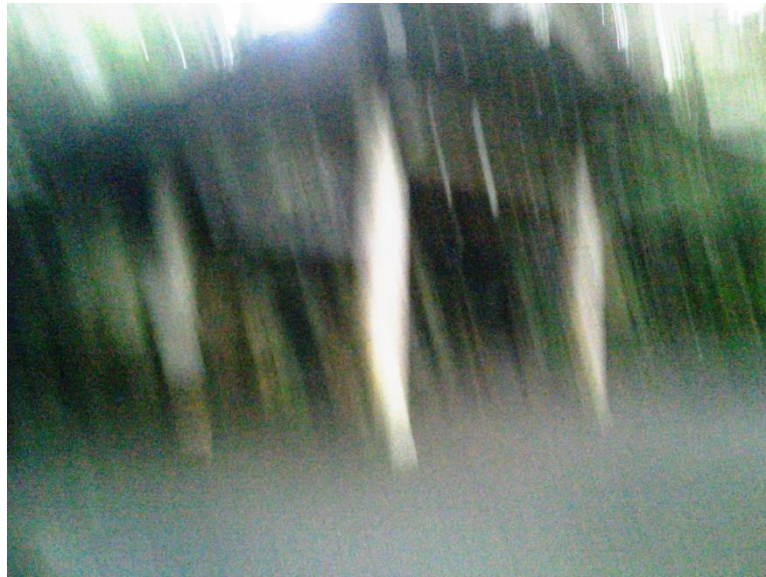
この琵琶滝と、手水舎はつながっている？と思った2013年の写真です



水の流れが、まわりの景色と一体化し、高速で動き始めたように見えます



手水舎の所まで移動し、再度撮影すると。。



こんな感じでした^^

目には見えない世界が、確かに存在する
人体の、一部の機能を進化させた“最新科学の目”とも言える携帯写真には
そのまま、映し出されるのだと思います

白山さんで撮った「目がまわる～」の写真は
琵琶湖竹生島で起こるこの日の事を、予言していたのかもしれませんが (**^^*)

白山さんで起こることは、世界で起こる！！かも？

龍神さんで、もう一つ、その日感じた事

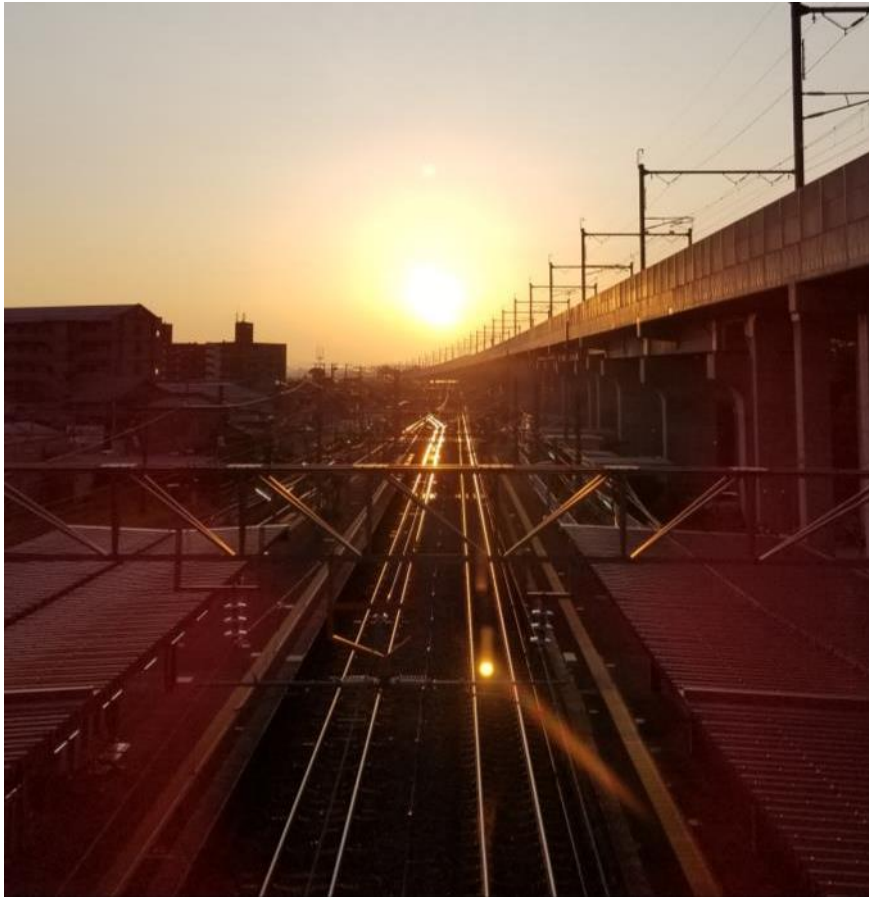
朝、電車の駅からみる白山は、とてもクリアで、自身そのものをみるような

強烈なインパクトを感じたのですが

ホームへと向かう途中、目に飛び込んできた朝日が、驚くほど、眩しく、美しく、

そして何故か、自身の“真正面にある！！”との思いで、胸が一杯になり

この感じ、何かしら？とっていました



この写真を見て

真っ直ぐなレールは、龍の姿であり、龍道 = 向かう道

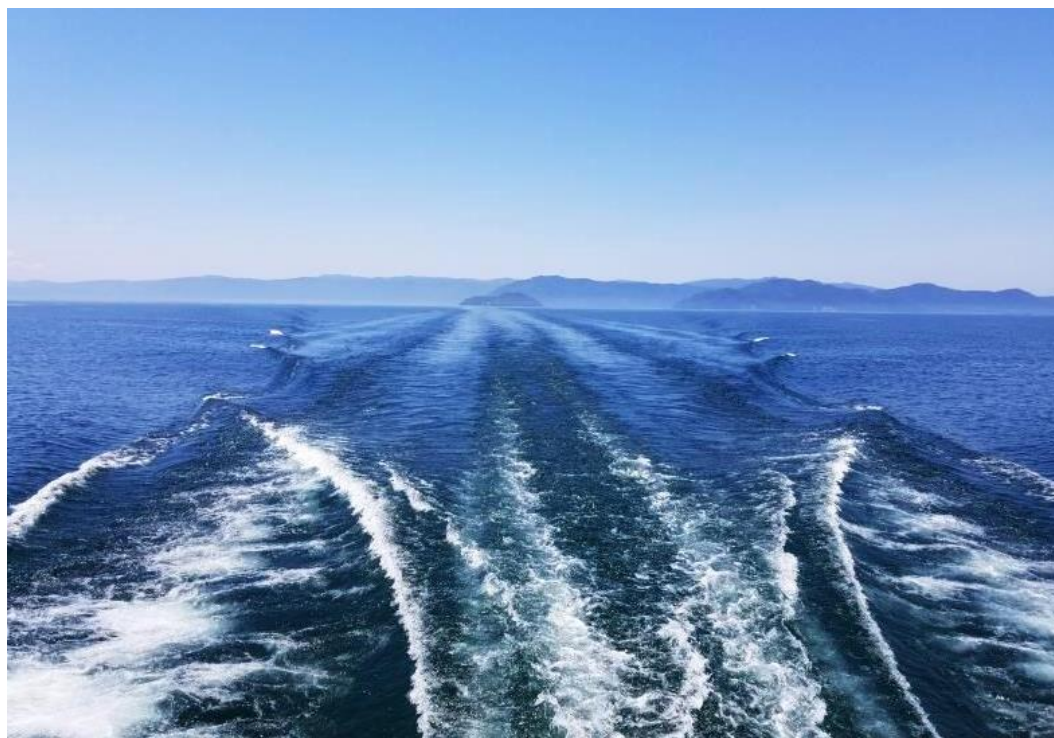
その正面には **“根源の太陽”** がある！！

白山の龍の、根源の光に寄せる、真っ直ぐな熱情、深い愛の祈りを

感じ取っていたのかもしれない…

と었습니다^^

竹生島での時間は、あっという間に過ぎ、長浜へと向かう船に乗り込みました
船の後部から、竹生島の方を撮った写真です



この光景をみた瞬間、ワクワクしました^^

旧約聖書の出エジプト記に出てくるといわれる、有名なお話
モーゼの“海割れ”のシーンが浮かんだからです

“道は開かれた！！”

との、神々からのメッセージではないでしょうか！！

白髭神社御祭神、白い髭の神様は、**モーゼ？！**でもあり、ここが約束の地?!^^

すべてが**“根源の愛の太陽”**からはじまる！！

私達に出来る事は、その**“究極の愛”**のポータル＝**“チビチビ太陽”**となって

自分達の周りの、大切な人たちと、それを支えてくれる

かけがえのない大地＝“地球”を、照らし続ける事、愛し続ける事！

一人一人は小さくても、共鳴の力が、∞の光の未来を切り開く！！

あらゆる全てに∞の感謝を！2018.6.6 善美 rumines